

報道機関各位

発信日	令和8年9月11日	担当者名	江田
担当課	維持管理課	電話番号	0942-85-3598

交通安全啓発キャンペーンを行います

秋の交通安全県民運動

事業内容	(概要) 令和8年秋の交通安全県民運動が行われることに合わせて、運動の周知と交通安全意識の啓発を目的として鳥栖駅東側で交通安全啓発グッズとチラシの配布を行います。 鳥栖市長、鳥栖警察署長や地区の交通安全指導員のほか、関係団体に参加いただきます。 ●日時 9月19日(土曜日) 17時00分～17時30分 ●場所 鳥栖駅東 駅前広場前(本鳥栖町1867番地) ●内容 秋の交通安全県民運動が9月21日(月曜日)から30日(水曜日)まで10日間実施されることに合わせ、サガン鳥栖のホームゲーム前、サッカー観戦者や鳥栖駅利用者を主な対象として交通安全啓発のため交通安全啓発グッズとチラシを配布します。 ●その他 参加者 鳥栖市、鳥栖警察署(大坪(おおつぼ)署長ほか)、西鉄バス佐賀(株)、J R 鳥栖駅、佐賀県東部土木事務所、地区交対協、交通安全母の会、老人クラブ連合会、鳥栖三養基地区交通安全協会(武廣(たけひろ)会長ほか) 約40名
------	---

添付資料	交通安全県民運動配布チラシ
------	---------------

関連サイト	秋の交通安全県民運動のお知らせ https://www.city.tosu.lg.jp/soshiki/21/7689.html
-------	---

秋の夕暮れ ライトと反射材で守る命



秋の9月30日は「交通事故死ゼロを目指す日」
秋の全国交通安全運動

令和8年9月21日(月)～9月30日(水)



チャイルドシート着用推進
シンボルマーク「カチャビヨン」



内閣府ホームページ

歩行者



歩行者の安全
確保と反射材用
品の着用促進

自動車



夕暮れ時の早め
のライト点灯と飲
酒運転や「ながら
スマホ」の根絶

自転車



自転車・特定小型
原動機付自転車の
交通ルールの一
理解・遵守の徹底



9月30日水は 「交通事故死ゼロ を目指す日」です



みんなで交通ルールを守って交通事故死をゼロにしよう！

歩行者 歩行者の安全確保と反射材用品の着用促進

生活道路は人が優先、歩行者もルールを遵守

- スマートフォンを操作しながらやイヤホンで音楽を聴きながらの歩行や横断は、注意力が散漫になり、車や周囲の危険に気付くのが大幅に遅れるので大変危険です。
- 横断歩道がある場所では横断歩道を利用し、運転者に横断する意思を明確に伝えて安全を確認してから渡りましょう。
- 9月1日から生活道路の法定速度が30km/hに引き下げられます。



反射材用品等の着用で交通事故防止

- 反射材用品、ライトや明るい目立つ色の衣服は、夕暮れ時や夜間、雨の日だけでなく日中も視認性を高めます。周囲にあなたの存在を効果的にアピールできます。
- 自動車、自転車や他の歩行者からあなたの存在が認識しやすくなるので、たとえ近所への外出でも、意識して反射材用品やライトを使用しましょう。



自動車 夕暮れ時の早めのライト点灯と飲酒運転や「ながらスマホ」の根絶

早めのライト点灯とハイビームの活用で安全性を向上

- 日没時間が早まるこれからの季節は歩行者横断中の事故が多く発生します。早めのライト点灯で事故のリスクを減らしましょう。
- ハイビームは、遠方の歩行者や自転車、落下物などを早期に発見することができます。交通量の多い市街地、対向車や先行車がある場合を除き、ハイビームを活用しましょう。



飲酒運転や「ながらスマホ」の根絶

- 飲酒運転は、判断力、集中力、運動能力を著しく低下させる悪質危険な行為です。
- 「ながらスマホ」は、前方の安全確認がおろそかになる大変危険な行為です。
- 飲酒運転、「ながらスマホ」、あおり運転は周りの人も巻き込む重大な交通事故につながりやすい極めて危険な行為です。社会全体で根絶しましょう。



自転車 自転車・特定小型原動機付自転車の交通ルールの理解・遵守の徹底

自転車・特定小型原動機付自転車の交通ルール

- 自転車安全利用五則を始めとした交通ルールを正しく理解して、安全運転を心がけましょう。
- 自転車・特定小型原動機付自転車（いわゆる電動キックボード等）は車両に分類されており、道路（車道）の左側の端に寄って通行することが原則です。
- 16歳以上の自転車の運転者についても一定の交通違反に対して交通反則通告制度（いわゆる「青切符」）が適用されます。

自転車安全利用五則

- ①車道が原則、左側を通行
歩道は例外、歩行者を優先
- ②交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
- ③夜間はライトを点灯
- ④飲酒運転は禁止
- ⑤ヘルメットを着用

ヘルメットは命を守る

- 自転車や特定小型原動機付自転車で走行中、万が一、交通事故に遭っても、ヘルメットを正しく着用していれば、頭部を保護し、被害を軽減することができます。
- ヘルメットを着用することで交通安全の意識も高まります。家族や友人にも「ヘルメットは命を守る」ものとして着用を呼びかけましょう。



令和8年9月21日月～9月30日水
秋の全国交通安全運動